

叡山電鉄(株)

同社は、1995年4月から約8年間にわたりデザイン電車「エコモーション」を運行し、環境の大切さを呼び掛けました。「エコモーション」とは、ECOLOGY (エコロジー) と LOCOMOTION (列車) と EMOTION (感動・情熱) を合わせた造語で、車体のデザインは米国の著名なアーティストであるアレックス・ボーズ氏に担当していただきました。2002年7月からは、「エコモーション」に代わるものとして「こもれび」を運行していますが、その車体には沿線の四季の変化と沿線に生息する動物をリアルに描く一方、自然・環境をテーマにした車内ギャラリーを開催するなど、「エコモーション」の精神を受け継いでいます。



▲こもれび



▲エコモーション

京福電気鉄道(株)

地球温暖化防止京都会議の開催地に籍をおく企業である同社は、2005年8月1日、社内に「環境マネジメントシステム推進委員会」を設置し、今年5月1日に「京都・環境マネジメントシステム・スタンダード (KES) ステップ2」の認証を受けました。

現在、①列車および工事の振動・騒音の低減、②廃棄物の適正管理・除草剤等の適正管理、③社員向けノーマイカーデーの実施、④グリーン購入の推進、⑤エコオフィス、クールビズ・ウォームビズなどを行っています。今後は、環境にやさしい電車の利用促進もアピールしていく予定です。



環境 理念

京福電気鉄道(株)

京福電気鉄道は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであるとの認識のもと、環境の保全や資源の保護に配慮し、全組織を挙げて環境負荷の低減に努力します。

Environmental
Report・2006

グループ各社における取り組み

京阪バス(株)

同社は、環境にやさしいCNGノンステップバスを2003年3月に導入し、現在6両を営業運転に供しています。CNGバスは圧縮天然ガス (CNG) を燃料とし、ディーゼルエンジンを使用する通常のバスに比べ、排気ガスに含まれるNOx (窒素酸化物) を大幅に低減し、黒煙や硫黄酸化物を一切排出しないという特長があります。また、黒煙や硫黄酸化物を95%捕集する高性能フィルターを装着した車両の導入も進めています。



▲CNGノンステップバス

江若交通(株)

同社は、2004年3月19日に制定した全7項目から成る環境方針ののっとり、①CO₂の排出抑制 (アイドリングストップ・エコドライブの実施) ②エコオフィスの推進③廃棄物の排出抑制④グリーン購入の推進⑤バス乗車密度の向上に取り組んだ結果、2005年3月11日にISO14001の認証を受けました。とりわけ、2004年10月に近江鉄道とともに運行を開始した路線バス (JR堅田駅―守山駅間/琵琶湖大橋経由) は、滋賀県内における「エコ交通」(公共交通機関や自転車、徒歩などを有機的に組み合わせ、マイカーに過度に依存しない交通体系) の柱のひとつに位置づけられており、食用油を原料として環境への負荷を抑えたバイオディーゼル燃料2割、軽油8割の燃料を利用したエコバスを運行しています。



▲エコバス

環境 方針

江若交通(株)

近畿の水がめ「琵琶湖」を抱える滋賀県を経営基盤とする私ども江若交通は、道路運送事業を行うに当たり、環境問題の重要性を認識し、環境に配慮した事業活動に取り組み、地域の皆様に愛される企業を目指します。(以下に続く7項目は省略)